

「街の小さなギャラリー」としてリニューアルした 展示スペースをご活用ください!

グループなどで作品をつくる方に朗報です。ラウンジの一部を利用した展示スペースが「街の小さなギャラリー」として2月1日リニューアルオープンしました。このギャラリーは「市民グループでの制作物を発表できる場所が少ない」、「アマチュアレベルであっても作品発表の場所を確保したい」という皆様からの声にお応えしたものです。只今、この「街の小さなギャラリー」では、展示を希望される団体を募集しています。基本的には最長2週間まで展示可能で、市内に拠点があるか、あるいは市内で活動する団体さんでしたらご活用いただけます。詳しくはお問い合わせいただき、文化振興の場として、是非ともご活用ください。



2008年三科展受賞者、赤塚利夫様のご好意により、リニューアルして、作品を展示させていただきます。

【bit】パソコン超初心者という方必見!! 【bit】で第一歩から始めませんか?

日時 2008年3月12日(水) 14:00~16:00 準備会議を開催

場所 松阪市市民活動センター 小会議室2

対象 松阪市市民活動センター登録団体の会員の方で、パソコン初心者の方5名(最少受付人数)~10名まで

◎例えば…
・パソコンに触ったことがない方
・インターネットでホームページを見たことがない方 等

※定員になり次第受付終了となります。お早めにお申し込みください。
※最少受付人数に満たない場合は実施いたしません。予めご了承ください。

内容 bit会員になった方がやってみたいこと、興味があることを毎回テーマとして設定します。

◎例えば…
・パソコンの電源を入れてみよう ・文字を入力してみよう
・パソコン各部の名前を覚えよう ・印刷してみよう
・インターネットを体験しよう 等

bitのサークル活動中、会員の方には主要ソフトがインストールされたノート型パソコンを貸し出します。

締切 3月7日(金)

お問合せ 松阪市市民活動センター TEL 0598-26-0108 担当/福井、中川

ブンカの交流館 ニュース 知 楽 学 劇 伝 成 賑 遊

ブンカの交流館第1期終了 そして次へ…

昨年10月から開講してきました、まちづくり型カルチャースクール「ブンカの交流館」が、今月2月28日をもって全講座が終了いたします。これまで開講しました講座は31講座、学んでいたいただいた受講生は約300名と、本当にたくさんの方々のご支援やご協力をいただいた事業となることができ、改めてお礼申し上げます。今回はコミュニティビジネスの支援として商店街活性化、文化育成などを目的に行ってきましたが、「教えない人」と「学びたい人」を空き店舗を活用し、つなげていくことへの関心が予想以上に高く、街づくりに対する市民の意識も高いことが実感できました。そして、この市民の力を次期につなげていければ、ということですが、第2期の始動に向け着々と準備を進めております。その詳細については、まだ時期が来たらお知らせいたしますが、第2期開始までの間、ブンカの交流館スペースをお貸しいたします。時間、費用、用途について詳しくはお問合せください。

お問合せ先：ブンカの交流館事務局 TEL 0598-26-0108 (担当/濱田)

「ブンカの交流館」は、公募による市民講師が講座を開講することで、「中心市街地活性化」、「ビジネス創出」、「生涯学習」、「NPO支援」、「コミュニティ再生」、「文化振興」などを目的に、楽しみながら、まちづくり・人づくりを目指す取り組みです。



おすすめ書籍紹介 書籍の森

講演は自分を活かす新しい舞台だ!
プロ講師になる方法



著者：安宅仁+石田一廣

講演は自分を活かす新しい舞台だ!
プロ講師になる方法
著者：安宅仁+石田一廣

り得るのだと本書は教えてくれる。この本の著者が、先日「伝える力・スキルアップ講座」にお越しいただいた講師 安宅仁 氏だ。安宅氏は言う。「私は自身がプロ講師ではありませんので、語りが特別巧いわけではありません。ただ、これまで5,000件の講演企画を行い、プロ講師育成の現役であることが私の『強み』です。その経験から、皆さんの役に立つ何かを必ずお伝え出来るはずです」と。いち人気講師のキャラクターに左右されないコツやノウハウ、笑える事例も本書の魅力である。

本紙ご愛読のみなさまへ センターからのお知らせ

◎初午大祭時センター休館のお知らせ
初午大祭当日は、例年通り臨時休館日とさせていただきます。
2008年3月6日(木)・7日(金)
会議室利用などのご予約もできませんので、予めご了承ください。

松阪発信!! 市民活動の情報紙ー AROMA

松阪発信!! 市民活動の情報紙ー AROMA
TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室 大会議室…机10 椅子30 (600円) 小会議室1…机4 椅子12 (150円) 小会議室2…机6 椅子18 (200円) 小会議室3…机4 椅子12 (150円) 外会議室…机8 椅子24 (400円)

機材等 印刷機(紙持込) / コピー機 マイク / プロジェクター 他

利用申込 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>
▼ 市民活動情報サイト(携帯版)
<http://genki365.net/gnkm/i/>
※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。

読覧図書三重県一を
私たちと一緒に
目指しませんか?

作ろうみんなの
書籍の森

ご協力ありがとうございます。
引き続き書籍の寄贈を募集中です。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。
【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

書籍をご寄贈いただきました。ご協力感謝申し上げます。

・三重大学大学院人文社会科学研究所様

最新のCSRレポートが 235冊届きました。

企業の社会的貢献活動を冊子にした2007年度版「CSRレポート」が235冊届きました。書籍の森にて閲覧可能ですので、是非ご覧ください。

文字と文字の間隙を縫う・・・チラッと編集後記
暦では立春が過ぎました。しかし、極度の寒がりの私には、未だ冬の寒さが身にしみます。先日、つけっぱなしのテレビから「時候的には大寒から立春にかけての間が一番の寒さで、立春を過ぎると少しずつ寒さも和らぐ」という内容の会話がかえってきました。「これでも少しは春らしくなってきたのかな?」と、ほんやり考えたのは、暖かいコタツの中だったことは、言うまでもありません。【S】

松阪発信!! 市民活動の情報紙ーアロマ

AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

No.15

発行…松阪市市民活動センター
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801 ▲予約専用
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

ちょっと気になる 団体



BeOneの代表を務める堀さん(左)と高松さん(右) 練習風景。舞台の基本である発声練習から始まります。

想いが形となり生まれた劇団

冬の風が冷たい1月某日午後7時。花岡地区市民センターには子ども達の元気な声が響く。中では「劇団ミュージカルBeOne」の新作自本の読み合わせが行われていた。柔らかな物腰で取材に対応していただいた堀まりさん、子ども達の練習をあたたく見守る高松千明さんの2人は、共にこの劇団の代表を務める。BeOneには前身の劇団があった。行政が主体となり設立されたその劇団で、堀さんと高松さんは、自分の子ども達がステージに立つ姿をサポートしながら見守った。その劇団は、資金難等の理由で望まずして解散となったが、人前で演じる喜びや面白さを学んだ子ども達の中から、自然と「ミュージカルを続けたい」という想いが湧き起こった。堀さん達は、この想いを形にすべく、翌年の2005年3月、その劇団の団員だった子ども達数名と共にBeOneとして新たなスタートを切った。現在では、子ども達の成長と共に団員のメンバーも入れ替わり、新しく入団したメンバーを含む20名でステージを演じている。名前のBeOneは「皆でひとつになろう」という想いが込められた造語だ。練習風景からは、その想いの通り大人も子どもも一丸となり、ひとつの作品を創り上げようとする一体感と、あたたかさを感じ取ることが出来た。

アピール団体とサポート企業

1月13日、BeOneはいつもの屋内ステージとは違った場所で短めのミュージカルを演じた。当センターが提案する「アピ×サポ計画(※2)」により実現したBeOne初となる屋外公演だ。設備の整った屋内ステージと違い、お客さんの顔の見える距離と明るさの中で、子ども達がどう演じるのかは、堀さん達にとって不安でもあった。しかし「子ども達は私達が思う以上に度胸があるというか…(笑) いつもと違った緊張感は今後の良い経験になったと思います。発表の場を与えていただき感謝しています」と、堀さんは感慨深げに振り返る。今回の連携では、市民活動団体にとっては活動発表や告知の場として、企業にとっては賑わいやイメージアップに繋がり、双方に良い結果をもたらしたようだ。地域に根ざした企業が、地元で活躍する市民活動団体と連携することは、地域の活性化やCSR活動にも繋がる。また、自己財源に悩む市民活動団体も、助成金などに頼るばかりでなく、今後、こうした連携にも目を向けて行くべきではないだろうか。

(※2)アピ×サポ計画:「アピール・サポート推進計画」の略。当センターが、市民活動団体と企業等を橋渡しする双方にメリットのある「支え合う仕組み」のこと。



BeOne初となる屋外公演。寒さを吹き飛ばす熱演でした。

人脈につながる情報の発信と収集

BeOneは年1回、日頃の練習の成果を発表する場を設けている。市営のホール等の大きなステージを借り、一般に向けた公演を無料で開催しているのだ。無料公演とはいえ、多くの人に足を運んでもらうには告知は必要不可欠だ。BeOneでは情報発信、情報収集ツールのひとつとして「市民活動情報サイト(※1)」を利用している。「私はホームページの知識はそれほどありませんが、このサイトはホームページも簡単に作れるので便利です」と語る堀さんの言葉からは、不得意分野であっても「まずはやってみる」という前向きな姿勢が見える。更に「この活動を理解し、助けてくれる人を探すことも大切」と、情報の発信だけではなく、収集にも余念がない。こうした地道な努力は、脚本家、楽曲提供者、演出家、ボランティアスタッフに至るまで、正規団員ではないが劇団を外からサポートする人脈にも大きく影響しているようだ。

(※1)市民活動情報サイト:松阪市のホームページのトップにもリンクされている情報サイト。ホームページ作成や、イベント情報の発信などが手軽に行なえる。

皆が喜ぶ恩返し

BeOneに所属する子ども達は小学3年生～中学3年生と年齢は幅広い。「子ども達の親の理解があるからこそ活動出来る」と堀さんは語る。確かに学校の授業等と違い、この活動は「やらなくてはいけないこと」ではない。しかし、子ども達は皆、宿題やクラブ活動を疎かにすることなく、ミュージカルの練習時間を作り、自らの意思でBeOneに参加している。更に、年齢の上の子は下の子の指導にあたり、下の子は年上の演技に憧れ、学ぶ努力をする。大人が口を挟まずとも、経験を積んだ者が後進の育成をしていく良い関係が築かれている。ここは子ども達にとって精神育成の場となっているようだ。本当に好きでなければ続かない。こうした姿勢は市民活動の根本のように思う。これは子ども達に限ったことではない。子ども達がここを卒業した後も、公演時の受付などボランティアとして劇団をサポートしてくれる親もいる。「サポートしてくれる方達への何よりの恩返しは公演を成功させること」と語る堀さん。今後も様々な舞台で皆が喜ぶ恩返しを続けてほしい。

【協力】松阪駅前通り商店街振興組合 【後援】松阪市、松阪商工会議所、松阪市社会福祉協議会、松阪市自治会連合会、(株)夕刊三重新聞社、中日新聞社、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社(後援依頼で承諾)

事業報告 大好評!! 「伝える力・スキルアップ講座」開催

前号のAROMAで予告と題して募集しました「伝える力・スキルアップ講座」を実施いたしました。この事業は、文部科学省が推進する「生涯学習分野におけるNPO支援事業」で、全国から申請された69事業のうち、18事業が採択され、その中の1つとして注目を集めています。「伝える力」というテーマを大きく3つの講座に分けて実施し、1「笑顔で伝える力」、2「書いて伝える力」、3「語って伝える力」それぞれのスキルアップを目指します。更に各講座が連続の4回講座となっており、内容も充実。集中的に各分野に活かせる力を学ぶことが出来ます。この事業は、受講生募集の段階から予想を遥かに上回る反響で、各講座とも募集開始早々に定員に達し、その後も多くの申込がありました。皆様より寄せられた学びの熱意を受け、各講師の理解を得て定員の枠を広げるなどの対応をいたしました。こうしたことから今回の講座に対する関心、ニーズの高さを実感しました。当センターでは、今後も地域のニーズに合わせた事業の推進に力を入れていく考えです。



「笑顔で伝える・ク라운講座」

入院患者に笑顔を届けるホスピタルク라운活動団体のメンバーが講師となり、ク라운流の子ども心を引きつけるテクニックを学びました。



「語って伝える・講師養成講座」

業界最大の講演企画コンサルティング会社で5,000件を超える講演企画をした現役プランナーを招き、得意ジャンルで講師になれる技術を学びました。



「書いて伝える・文章講座」

書くことに精通されたタウン誌、フリーペーパーなどの地域メディアの方々に、地元印刷会社から推薦の講師を招き、ワンランク上の文章表現を学びました。

事業報告 松阪商工会議所との連携アンケートについて

「産・官・学・民」のさらなる連携に向け、松阪商工会議所と当センターが相互協力し、実施いたしました「商工会議所活動に対する意識調査アンケート調査」にご協力いただきありがとうございました。これは三重県商工会議所連合会の活性化プロジェクトの一環として実施した調査であり、松阪が調査モデル地域に選定されました。下記のグラフは、企業側、団体側の中から特に興味深いアンケート結果を抜粋したものです。

【地域企業にお聞きしました】

Q:「貴社は、地域貢献活動・社会貢献活動を実施されていますか?」

実施中	現在は企業独自で実施。今後も独自で実施…24%
	現在は企業独自で実施。今後はNPOと連携を希望…7%
	現在すでにNPOと連携している…12%
実施していない	今後はNPOと連携して実施したい…27%
	今後は企業独自で実施したい…16%
	今後も実施の予定がない…13%

※回答なし:1%

約4割の事業所が地域貢献活動を実施。約3割の事業所が今後、市民活動団体との連携を検討していきたいと回答。「今後はNPOと連携したい」と回答した事業所の約7割が従業員20人以下の小規模事業者であり、そのうちの約半数が従業員5人以下の事業所であった。さらに、「市民活動団体と連携して実施中」と回答した事業所の規模別データも同じ割合となっており、多くの小規模事業者が地域貢献を実施、または今後の連携を検討していることが傾向として出ている。



センター長の独り言

地域社会(コミュニティ)と名の付く活動には、関わっていただきたいですね。コミュニティビジネス、コミュニティ番組、コミュニティサイト…。結構ありますな。

【市民活動団体にお聞きしました】

Q:貴団体の活動における問題点は何ですか?(複数回答可)

1位	参加者の不足…45%
2位	資金不足…21%
3位	専門的な知識・情報不足…14%

「参加者の不足」を解消する一歩として、広報力を強化する方法があります。当センターでは継続的に広報にまつわるサポート事業を実施しており、好評を得ております。「資金不足」については難しい問題ですが、各団体にとっての「ふさわしい解消法とは?」を見つめ直すことも大切かもしれません。経済産業省も力を入れているコミュニティビジネスの考え方は、地域課題を解決しながら資金を得ていく方法です。まちづくりや生きがいづくりの効果もあるため、各方面から注目を集めていますので、解決方法のひとつとして参考になりそうです。当センターの「書籍の森」ではこの関連書籍も多く取り揃えましたのでご利用ください。

コミュニティビジネスの考え方などにより、「地域企業の社会貢献」と「持続可能にするための市民活動の有償事業」が急速に近づいた感があります。サポートを行なう立場の「商工会議所」と「市民活動センター」の連携も求められており、情報交換や事業共催なども検討できればと考えております。

【特報】

「三重県文化賞」松阪のお二人が受賞

平成19年度三重県文化賞の受賞者が発表されました。その中で、地元松阪で活躍され、当センター登録団体である「松阪合唱友の会」「大正口マン一座」の越知愛幸子さんが文化功労賞を、「箏らぶそでい」「邦楽21・MONE」の比留間町子さんが文化新人賞を、それぞれ受賞されました。そこで、喜びのお二人にコメントをいただきました。



越知さん

受賞は、みなさまとの出会い、繋がりの賜物だと思っています。今後も、コーラスを通じて、一人でも多くの人に、一つのものを作っていく喜びを知っていただき、裾野を広げていきたいと考えています。



比留間さん

受賞に関して、関係者の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。自分ひとりの力ではなく、周囲の方々に支えていただいたおかげで、受賞できたのだと思っています。これからも急ぐことなく、自分のペースで邦楽の普及に貢献していきたいと考えています。

備品を忘れたウツカリさんのために

会議などで使用される備品は、各自でお持ち込みいただくことになっていますが、「あ! 備品忘れたらちよっと貸して」という言葉を耳にすることも少なくありません。そんなウツカリさんのために、お助けグッズ(よく使う備品)を詰め込んだ「ウツカリお忘れ救急箱」をご用意いたしました。備品を忘れて困ったときは、ご利用くださいネ。でも、次回は忘れないでくださいよ。

救急箱の中に入っているお助けグッズ			
・ハサミ	1本	・ボールペン	3本セット
・カッター	1本	・定規	1本
・ホッチキス	1箱	・メモ帳	1冊
・ホッチキスの針	1箱	・2穴パンチ	1個
・セロハンテープ	1巻	・クリップ	少量
・のり	1本	・輪ゴム	少量

※ご利用の消耗品(ホッチキスの針、テープなど)は、後日、救急箱にお戻しくださいます。



ケーブルテレビでPRしてみませんか?

当センターのスタッフが手づくりで制作・編集する番組なんですよ。「市民活動が楽しくわかる」と好評です。さっさと僕のおかげだなあ〜

この番組は、松阪ケーブルテレビさんにご協力いただいています。市民活動、地域貢献へのご理解ありがとうございます!

マツハくんのおかげ…ではなく、ご協力いただいている皆様のおかげで、「だから、市民活動!」は4月以降も継続することが決定しました!(パチパチパチ) そこで!「この番組内で自分たちの活動をPRしたい」という団体を募集します。出演ご希望の団体は、当センターへEメールでお申込みください。件名に「MCTV出演希望」、本文に「団体名」「担当者名」「希望する取材内容」をご記入ください。追って担当者から連絡を差し上げます。お申込みはお電話でも結構です。

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp TEL 0598-26-0108 (担当:米山)

※公平性・公共性を保つため、取材先は検討の上、決定させていただきます。予めご了承ください。

活動をキッチリ伝えると、理解者・協力者が増えます。その広報活動に松阪ケーブルテレビと当センターが連携し、豊かな地域社会に向けてサポートします。これからも楽しく親しみやすい番組を制作してまいりますので、応援よろしくお願い致します!

住民協議会に「だから、市民活動!」の舞台セットを視察

住みよい地域社会をつくるため住民自らが取組む「朝見まちづくり協議会」のお二人が当センターを訪れました。お目当ては、市民活動PR番組「だから、市民活動!」の舞台セット。同事務局長の鈴木さんによると、協議会(福祉部会)で行う人形劇の参考にしたいとのこと。協議会では、本来「講演形式」で行う介護の方法を、楽しく広めたいと「人形劇」に着目。福祉分野に限らず、地域の防犯・防災への理解を高める狙いもあり、学校や老人会など人の集まる場所で披露される予定です。来館されたお二人は舞台セットを前に、寸法や持ち運び方を検討しながら、熱心にご見学されました。現在、来年の完成を目指し、登場するキャラクターも考案中だそうです。完成が楽しみです! 当センターの取り組みが自治会組織のお役にも立てるのは嬉しいことです。今後も地域との連携で、楽しいまちづくりを目指したいと思う出来事でした。

マツハくんとミライちゃんがテレビから飛び出して活躍中!

松阪市市民活動センターは、中心市街地の活性化にも協力しているよ。今回は、商店街のおかみさんたち(ミ協会のメンバー)松阪が行う「第2回松阪まちなかお祭り」に参加。70店舗も協力しているだけあって、今、中心市街地を歩くに至る所にお祭りを見ることが出来るんだ。僕たちは当センターの入口でお祭りの姿になって皆様をお迎えしています。会いに来てね。



登録団体のみなさまへ センターからのお知らせ

【お気軽・未来志向】



「あの団体さんに興味あるなあ〜」と思ったことはありませんか?

当センターでは、様々な交流事業を実施していますが、新たな「交流のきっかけづくり事業」を実験的に実施します。このサロンでは、交流のきっかけとして登録団体の中から語り手(話題提供者)をお招きします。この語り手の選び方にちょっとしたゲームの要素を盛り込みました。各登録団体に1票をお預けし「お話を聞いてみたい」「交流したい」と想う登録団体に投票してもらいます。「団体さんが団体さんを選んでもらう」ということです。交流してみたい気になる団体さんってありますよね。ご要望が多ければ継続事業にいたしますので、ぜひ投票してみてください。団体さん同士の考え方や街への想いが「くつつく」橋渡しになれば なによりです。顔の見える距離感と人数の「気軽な茶話会」になればいいですね。

右記の手順に沿って、「語り手」をお選びください……▶

楽しいサロンにしたいと思っています。皆さん、まずはご投票を!

一人一人が出来ることを チーム・マイナス6%に参加しました。

当センターは、チーム・マイナス6%運営事務局(環境省地球環境局地球温暖化対策課国民生活対策室)に申請し、「チーム・マイナス6%」に参加いたしました。日本では地球温暖化の原因となるCO₂等の温室効果ガスの量を2008年~2012年までの間に、1990年比で6%削減することを目標としています。こう書くと少し難しく感じるかもしれませんが、私達一人一人が心がけ、実践出来ることは意外と簡単です。エアコン等の温度設定もそのひとつ。当センターでも、会議室をはじめ、ラウンジを含む全館でエアコンの温度設定を夏は冷房を28℃に、冬の暖房は20℃にいたしました。今後も当センターは、誰もが出来るエコ活動推進にも力を入れていく考えです。センターご利用の皆様にも、環境への負荷軽減を目指すこの取り組みをご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い致します。

【広報】▶ 今回のNPO法人ひとくちメモ、「ひとくちmemonpo!!(メモンポ)」は「広報」についてお話しします。皆さんは松阪ケーブルテレビで放送されている番組「だから、市民活動!」をもう見ていただきましたか? この番組は、私どもNPO法人Mブリッジ(松阪市市民活動センター指定管理者)の制作番組として様々な分野で活動中の団体を紹介させていただいております。NPO法人にとって「広報」というのは、とても大切です。以前に「ミッション(使命)」というお話をしましたが、皆さんが活動されている社会貢献活動をより多くの市民の方に知ってもらうことで、団体の知名度や信用度が上がります。それは、ただ単に団体の名前を有名にするという意味ではなく、活動を知ってもらうということが、団体が社会的に必要であると認知されているからです。例えば、電話会社といえど、食料品のスーパーと言えど、と聞くと、頭に幾つかの名前が浮かびますよね? 行なっている活動を聞くと団体の名前が浮かぶ…だから広報!! 広報誌や会報誌もそのひとつです。定期的に発行してみてください。当センターにも各団体さんの広報誌や会報誌がたくさんありますので、参考に是非見に来て下さい。

【第10回】NPO川柳

「これはエユー!」
母はそう言い
こたつ消す

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎) 【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記をメールで送信ください。①毎(未発表作品に限りです。複数応募可) ②氏名(雅号、筆名でも可) ③住所、電話番号【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp【締切】平成20年3月31日 必着【発表】AROMA」と市民活動センターホームページにて。曾は何もございませんが、嬉しい願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょうよ!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものとなります。 ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

負けじと副センター長も独り言

やぎ座は今年、12年に1度の大幸運らしいのです! スタッフの中で、やぎ座は濱田と福井です。しかも同じ誕生日。12月24日なんですよ。二人ともワキキ気分です。